

## 第7回鹿野地域振興会議議事概要

日 時 平成30年1月22日（月） 午後1時30分～午後4時

場 所 鹿野町総合支所 会議室

### 【出席委員】

山田薫委員、林輝幸委員、筒井洋平委員、田中文子委員、伊井照幸委員、池原美穂委員、兼平恵委員、向井健太郎委員、小川義和委員、佐々木千代子委員、山本章委員、山下直司委員 12名出席

### 【欠席委員】

なし

### 【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長、岡田産業建設課長、上野市民福祉課長、西浦地域振興課長補佐、澤田鳥取大学地域連携PBL推進室長

### 【傍聴者】なし

### 【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告

#### （1）経過報告について

- ・事務局より資料1に基づき経過報告。

委員1 冬休み子ども塾について、同日に3地区公民館が実施しており、子どもたちが参加できるように日程調整してほしかった。

### 4 議題概要

#### （1）新市域振興ビジョン改訂について

事務局より資料2に基づき説明。

委員1 ④移住・定住の促進について、土地開発公社が鬼入道の「鬼楽庵」を売却する方向だが、「鬼楽庵」付近の斜面のがけ崩れのおそれがあるため、売却が可能かどうか不透明になっている。せっかく鬼入道集落が気に入って、住みたいと思われて

いるので、対処してほしい。

## (2) 集落アンケートの実施について

事務局より資料3に基づき説明

- 委員1 住所は鹿野町にあるが、実際に住んでいない場合はどうなるか。
- 委員2 実態に合わせたほうがよい。
- 委員3 世帯主が回答するようになっているが、「世帯主を含めて」と明記したほうがよい。
- 委員4 世帯主の年齢を記入してもらったほうがよい。
- 委員5 集落の状況を把握したいのなら、世帯主の集落を記入したほうがよい。集落としての個別データを持っておいたほうがよい。
- 委員6 後継者の回答の仕方を工夫して、わかりやすくしてほしい。また、質問の仕方でも回答が不要な場合は次の質問へ行くようにしてほしい。
- 委員7 「近所付き合い」について、どの程度のことを言っているのか。また、常会の会議や運動会などのイベントを含めた参加回数なのか。具体的にしたいほうがよい。
- 事務局 皆さんの意見を参考にさせていただきます。1月26日には各自治会長さんへ配布して、アンケートの回収をお願いしたいと思います。

## (3) 委員提案について

・委員Aより資料4に基づき説明

### ① 小・中学校の資源回収について

- 委員1 回収施設を作るとしてもその管理が大変である。誰が管理するのか。PTAで管理するもの大変だと思う。
- 委員2 少子化で子どもが少なくなっているものわかるが、PTAで地域への広報を広げてほしい。地域の方も協力するという意識が希薄になっている。
- 委員3 自治会によって対応が違うと思うが、資源回収のチラシを各家庭に配布するだけに終わっている。
- 委員4 金銭的なことも大切だが、資源回収という意味合いを大切にしてほしい。
- 委員5 保護者の資源回収に対する意識が低下している。
- 委員3 アルミ缶の回収は鹿野小学校でも行っている。体育館のところに回収場所がある。

会長 PTAの方に資源回収の意味合いや自治会での広報をきちんとやっていただくことが必要。

② 公共施設の利活用について

委員より資料4に基づき説明

委員1 勝谷地区は浜村から中園の一部まで光ケーブルが利用できる。CATVのケーブルよりも情報の伝達が早く、多くの情報量が送受信できる。

委員2 NTTが動かないと整備できない。

委員3 NTTとしてはまとまった区域での契約数を必要としている。鹿野地域としては、今のケーブルTV網で満足しているので、光ケーブルの必要性を感じていない。

事務局 鹿野地域ではケーブルTV網利用の人が多く、現在困っている人は多くないと思われれます。徳島県は政策として光ケーブルネットを整備しました。鳥取県情報ハイウェイとして鹿野町総合支所にも光ケーブルが入っています。

・委員提案2について

委員Bより資料委員提案2に基づき説明

事務局 鳥取市は第6期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画(平成27年～平成29年度)に基づいて事業を推進しています。現在、初期集中立ち上げ期として、認知症対策や老人の見守り体制など検討しています。第7期(平成30年～平成32年度)では、制度の拡充・見直し期とし、平成38年度にシステムの構築を考えています。平成27年度推計で要介護認定者は10,971人(うち認知症高齢者は6,304人)であり、要介護認定の4～5の方は施設へ入所されています。その他の方は在宅介護となります。

委員1 在宅介護にも限界がある。地域でのかかわり方が課題となる。地域でもかかわり方が強いところはまだがんばれる。鳥取市内でも介護に対して地域差があるようだ。

委員2 鹿野地域は在宅率が高い。家族がしっかりしているのか、我慢強く辛抱しているのか、わからないが、在宅介護は大変だ。

会長 少子高齢化が深刻に進んでいることはわかっている。地域社会の現状を把握しながら、みんなが鹿野地域で豊かに暮らしていくことが大切である。集落アンケート

トが実施され、集落の課題や底力が見えてくれば良いと思う。この課題は今後につながる提案だと考えている。

#### (4) その他

① 指定管理者による鹿野町農業者トレーニングセンター等の施設管理について

委員 1 指定管理になって、使用料や開館時間などの変更があるか。

事務局 原則、規則通りです。使用料金は変わりません。

②自治会に関連する補助事業について

③ 鳥取市地域コミュニティ除雪活動支援事業について

④ 防災行政無線デジタル化と地域内情報伝達設備整備事業について

⑤ 「義務教育学校 鹿野学園」の開校について

⑥ 2018年版住みたい田舎ベストランキングについて

⑦ 中核市移行記念式典について

⑧ 鳥取西道路(鳥取西IC～青谷IC)トンネル、橋梁名称について

⑨ 第10回いんしゅう鹿野まちづくり合宿について

#### 5 その他

2月開催の第8回鹿野地域振興会議は2月21日(水)午後1時30分より鹿野町保健センターで開催予定。

#### 6 閉会